



▲①子どもが川遊びを楽しむことができる胆振幌別川の上流／②自然の中で心地良い散策の出来る遊歩道／③冬にはソリ遊びができる築山

▲夏にはスイカ割り、冬には長靴アイスホッケーを行うなど、季節に応じてさまざまな利用ができる敷地内のグラウンド

多くの人が関わり形づくられた、人と自然が触れ合うための空間



ネイチャーセンター『ふおれすと鉾山』は、人と自然の触れ合いを通じて、自然に対する意識の高揚や子どもたちの豊かな心と生きる力を育むことを目的に、平成14年4月にオープンしました。廃校となった幌別鉾山小中学校の建物を再利用して誕生したこの施設は、鉾山地区の自然に触れ合うための拠点として、多くの方に利用されています。

ふおれすと鉾山では、多くのボランティアの方がさまざまな活動に参加してきました。平成14年に、ふおれすと鉾山の活動を支援するため、約40人の方が集まって組織されたモモンガくらぶは、ふおれすと鉾山の『利用者会議』に参加し、利用者を代表して意見を述べるなど、施設の運営に大きく携わってきました。

また、敷地内の笹藪を手入れして整備したり、独自の自然体験行事を開催したりするなど、ふおれすと鉾山の利用者が自然と親しみやすい環境づくりに尽力してきました。

ボランティア活動を続けていく中で、会員数が増えていったモモンガくらぶは、平成17年にNPO法人格を取得しました。

市は、平成19年から、ふおれすと鉾山の活動や鉾山地区の自然に精通しているモモンガくらぶに、ふおれすと鉾山の指定管理者として運営管理を委託し、モモンガくらぶやボランティア、市が連携して、利用者が鉾山地区の自然を楽しむことのできる環境をつくっています。

自然を楽しむための拠点として、さまざまな機能と環境を整備



ふおれすと鉾山には、利用者が鉾山地区の自然の中で活動するための拠点として活用できるよう、さまざまな機能を備えています。

施設の入り口から正面に見える食堂は、壁一面に窓を配置し、活動の間、木々が生い茂った山を眺めながら休憩や食事などに使うことができます。調理室には電子レンジや冷蔵庫、食器などを備え付けており、自炊することができます。

宿泊棟や浴室もあります。宿泊棟は最大80人の方が宿泊でき、浴室も一度に多くの方が利用できますので、個人単位の利用はもちろんのこと、共同生活の体験にも利用できます。

市内の小学生が4泊5日、親元を離れて共同生活を行う『通学合宿事業』の実施などにも活用しています。ロビーにつながる渡り廊下を抜け



▲鉾山地区の自然について学ぶことのできるロビー

ると、どことなく懐かしさを感じる旧棟にたどり着きます。廃校となった幌別鉾山小中学校をそのまま活用したその旧棟には、鉾山の歴史などを学ぶことのできる展示コーナーがあるほか、『木のおもちゃひろば』や図書室、木工室があります。

また、施設から一歩足を踏み出すと、周辺には、広々としたグラウンド、木のブランコなどの遊具、整備された遊歩道などがあり、日頃、自然に触れることの少ない方でも自然と親しみやすい環境が整っています。施設から西の方に少し足を運ぶと、『滝の沢』と呼ばれる、胆振幌別川の上流があり、ヤマメやハナカジカなどが生息しています。近くの林道で森林浴を楽しみながら散策してみ